

梅本塵山人 うめもとじん 狂歌師。文久二年九月、二十七日江戸生れ（二六二一）。  
謹高節、幼名鉦太郎、通稱鐘（鐘）太郎。別號九郎丸、冬扇坊、  
千俣庵城、古狸窟、嗜餅翁、塵山、夏爐庵、天明廬、安倍川望成、柳  
古老人、損益堂、柳花、梅本望成、秋の屋主人、秋廬望成、秋農屋、  
華の屋、鼓腹舎、黒眼子等。狂詩、川柳、俳諧も通じ、八野崎左文と  
並ぶ最後の人物狂歌師。

著書『蜀山狂歌叢談』（秋廬望成名、明治二十八年九月二十日耕書  
堂）、『今昔狂歌叢話』（同、明治二十九年五月二十一日耕書堂）、

『川柳難句評釋』（柳花・梅本鐘太郎名、明治二十二年二月九日文祿  
堂書屋）、『蜀山狂歌叢談』（蜀山狂歌叢談、今昔狂歌叢話）□（秋廬望成名、再版

・明治四十四年四月二十日栄光閣書店）、『趣味  
研究大江戶』（秋の屋望  
成名、合著・江戸研究会編、大正二年十月二十日大屋書房）、『評  
川

柳名句選』（秋の屋主人・柳花名、大正十年七月二十日町田書店）、

『狂  
歌再飴』（安倍川望成名、大正十年十一月十八日旬刊）、『吾家の

狂歌』（同、昭和七年五月五日旬刊）等。

